

インフルエンザ感染時の対応について

インフルエンザの流行が始まりました。罹らないための予防策や、もし罹ってしまった時の対応を下記に載せてあります。参考にしてください。

+感染しないために

1. うがい、手洗いをこまめにしましょう。

外から帰宅した時は、[「予防のための手洗い」](#)を参考に、特にていねいに手洗いを行って下さい(鼻をかんだ後や、くしゃみや咳で手を汚してしまった時も手洗いが必要です)。

2. 咳やくしゃみがある時は、咳エチケットを心がけましょう。

咳やくしゃみが出る時は、タオルで口元をおさえて、唾液や鼻水が飛散するのを防ぎましょう。タオルを持っていないときは手のひらで押さえるのではなく、肘関節の内側の部分で鼻や口を押さえましょう(手のひらで行うと、机やドアノブなど大勢の人間が接触する部位にウイルスを付着させてしまう恐れがあります)

飛び散った唾液や鼻水の水分が蒸発すると、ウイルスが空気中にただよい始めます。

これを吸い込んだり、さわった手で鼻の粘膜にふれたり、食べ物を食べたりすると感染してしまいます。

※マスクは各家庭でご準備ください。

3. 部屋の換気や加湿を行いましょ

4. 登校前に体温を測定し、日々の体調について確認しましょう。

5. 人が大勢集まる場所への外出は控えましょう。

+感染してしまったら

1. 発熱後すぐにはインフルエンザの検査ができなかったり、正確な結果がでないことがあります。

(ただし、本人が辛いときは早めに受診下さい)

2. インフルエンザの治療薬は、発病後 48 時間以内に服用を始めなければ、効果が期待できなくなることがあります。

3. 診断が出たら早めに学校(担任)へ連絡してください。

4. 発症した後5日を経過し、かつ、解熱後2日が経過するまでは登校してはいけません。

(学校保健安全法第 19 条2項)

5. 登校するときは[「インフルエンザ回復届け」](#)(別紙1)と「処方薬の説明書」を学校(担任)へ提出して下さい。

診断書や治癒証明書は必要ありません。マスク着用で登校して下さい。